

平成24年度
実施事業

事務事業名 公害対策事業

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築
小分類	2	環境保全活動の推進
主要な施策	4	④公害監視体制の強化
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 63 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策グループ
-----	-------	-------	---------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	公害の発生を未然に防止することにより、市民が住みよい環境を保全することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	市内の河川の水質調査を実施する。 【事業内容】 ・河川水質調査 登別川：年3回 サト岡志別川：年3回 上記以外の9河川：年2回
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	本年度も引き続き河川の水質調査を実施し、公害の未然防止に努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	環境基本法 水質汚濁防止法 登別市環境基本条例 登別市公害防止条例

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	807	726	751	751	751
事業費 合計			807	726	751	751	751

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 公害苦情件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	2	3			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
平成19年度公害苦情件数：9件 平成20年度公害苦情件数：6件 平成21年度公害苦情件数：5件 平成22年度公害苦情件数：3件 平成23年度公害苦情件数：2件	平成24年度公害苦情件数：3件 年々苦情件数は減少傾向にあり、特にここ3年は2～3件である。各種調査によって、公害状況を把握することにより、公害の未然防止に寄与しているといえる。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市内河川の水質における環境基準の達成状況を調査し、人の健康の保護及び生活環境の保全に努める。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 公害は、その種類に応じ多岐に渡り市民へ被害をもたらすため、未然防止に努める必要がある。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 継続的に調査を実施していくことにより、市内の公害状況をより正確に把握することができ、さらなる公害の未然防止に寄与できる。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 公害苦情発生件数はここ数年減少傾向にある。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	この業務を継続的に実施することにより、公害の未然防止に寄与することが出来る。
----	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--